

限界工事量を軸にして 「災害対応組織力」は怎么样了か？

平成24年「東日本大震災から一年」の調査を手掛かりにして



一般社団法人

群馬県建設業協会

The Associated General Contractors of GUNMA



はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方や関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらすとともに、私たちは、想定を超える自然災害はやはり起こるのだということを目の当たりにすることとなりました。







「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、東日本大震災以降も、地震、噴火、洪水、土砂崩れ、豪雪などの災害が、忘れる暇もないほど毎年のように発生しています。

そのうえ、今後そう遠くないうちに南海トラフ巨大地震や首都直下地震等の巨大地震の発生も懸念されており、自然災害対策の重要性はますます高まっています。

群馬県建設業協会では、平成24年3月に「東日本大震災から一年」と題して、災害に備えるための災害応急対策力の基礎調査を行いました。この時は、災害応急対策に従事できる人員が10年前に比べ24.8パーセントも減少しているという深刻な結果となりました。

あれから6年が経過し、景気回復で企業の経営も安定してきたと言われる状況の中で、あらためて「災害に対応できる組織力」について調査を行い、万一の災害にも確実な対応がとれるのか、検証を行うものです。

東日本大震災以降も頻繁に発生する大規模災害

年	月	災害	内容
平成23年	3月	 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	M9.0の巨大地震。国内観測史上最大の震度7。東日本の太平洋沿岸部に多大な被害を与えた。死者15,895人、行方不明2,539人。
		 長野県北部地震 (栄村大震災)	M6.7の地震。長野県栄村では震度6強を記録しており、家屋の倒壊や土砂崩れなどの被害を受けた。死者3人。
	9月	 台風第12号	2日～3日にかけて、西日本各地に大雨を降らせた。特に紀伊半島の奈良県南部・和歌山県で大規模な土砂崩れ等による特に被害が大きかった。死者・行方不明者98人。
平成25年	10月	 台風第26号	東京都の伊豆大島にて記録的な大雨による土石流が発生。集落を飲み込み死者行方不明者43人。
平成26年	2月	 豪雪	普段は雪の少ない太平洋側でも大雪となり、首都圏などでスリップ事故が相次いだ。特に岐阜県・山梨県・長野県では大雪で孤立する集落が相次いだ。鉄道の立ち往生も相次ぎ、成田空港も鉄道、高速道路すべて不通となり、2日間完全に陸の孤島と化した。死者39人、負傷者2,199人。
	8月	 広島市土砂災害	広島市北部の安佐北区・安佐南区の複数箇所にて大規模な土砂災害が発生。土石流などで死者74人・家屋の全半壊255軒。広島市内の地質が影響し被害が拡大した。
	9月	 御嶽山噴火	登山客が山頂に多数居る時間に突然噴火。多くの登山客が巻き込まれた。死者行方不明者63人。

年	月	災害	内容
平成27年	9月	 関東東北豪雨	台風第18号から変わった低気圧により鬼怒川流域に重なるように線状降水帯が形成され、鬼怒川の水位観測所では観測史上最高を記録し7箇所で河川からの氾濫が生じた。死者20人。建物全半壊7,171棟。
平成28年	4月	 熊本地震	4月14日に前震(M6.5)が発生し、最大震度7を益城町で観測。その後、4月16日に本震(M7.3)が発生し、熊本県益城町(2回目)、西原村で最大震度7を観測したほか、熊本県と大分県の広範囲で震度6強~6弱を観測。なお、本震の際には大分県中部でも誘発地震が同時発生していた。関連死も含めると死者は267人に及んだ。
	8月	 台風第7号、第11号、第9号、第10号及び前線による大雨・暴風	8月16日~8月31日に発生した台風及び北海道地方に停滞した前線による大雨により東北地方から北海道にかけ死者25名、住屋倒壊や浸水などの水害、農作物への甚大な被害をもたらした。
平成29年	7月	 九州北部豪雨	九州北部に形成された線状降水帯により500mmを超える大雨となり、筑後川流域の至る所で表層崩壊が発生し、土砂とともに大量の流木が流れ下り、被害が拡大した。死者行方不明者42人、全半壊1,432棟。
平成30年	2月	 福井豪雪	福井県北部の国道8号では10km区間で車約1500台が立ち往生し福井県は自衛隊に災害派遣を要請した。北陸自動車道は通行止め、JR西日本も全列車終日運転を見合わせた。小松空港でも終日全便が欠航となった。
	6月	 大阪北部地震	大阪北部を震源とするM6.1の直下型地震で大阪北部で観測史上最大の震度6弱を観測した。また、近畿地方で5弱以上の地震が観測されたのは兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)以来。死者5人。
	7月	 豪雨(西日本豪雨)	西日本を中心に発生した豪雨災害。死者行方不明者は229人となった。水害による死者100人超えは平成に入ってから初、昭和期に遡っても長崎豪雨以来である。
		 猛暑	5年ぶりに40度超え、熊谷市で最高気温記録を更新する41.1℃を観測した。下呂市、美濃市でも41.0℃を観測した。他に都内の青梅市で40.8℃、名古屋市で40.3℃、京都市で39.8℃を観測した。
	9月	 台風第21号	25年ぶりに「非常に強い」勢力で上陸した。大阪湾で第二室戸台風の時を上回る3mを超す高潮を観測し、関西国際空港では滑走路が浸水し、連絡橋にタンカーが衝突して孤立状態となった。
	9月	 北海道胆振東部地震	M6.7の地震。胆振地方で震度7、新千歳空港で6弱、札幌市で5強を観測。苫東厚真火力発電所の緊急停止から発生したブラックアウトにより全道295万戸が停電となった。



「災害応急対策業務に関する基礎調査」の概要と課題

平成24年に行った調査に比べ、災害に対応できる組織力がどう変化しているかを再度調査したものです。平成24年は12月に第二次安倍内閣が誕生し、経済政策に力を入れたことによって、経済の発展、景気の回復が見られました。その結果は従業員数の増加という形になって表れています。しかし災害時の応急対策に対応できる人員（災害応急対策基礎人員）については、逆に減少しているという結果でした。

従業員数は6年前に比べ、

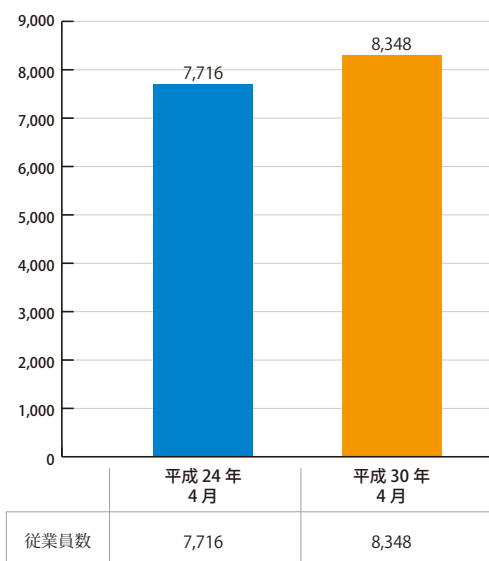
1 8.2% 増加
しています。

基礎人員は6年前に比べ、

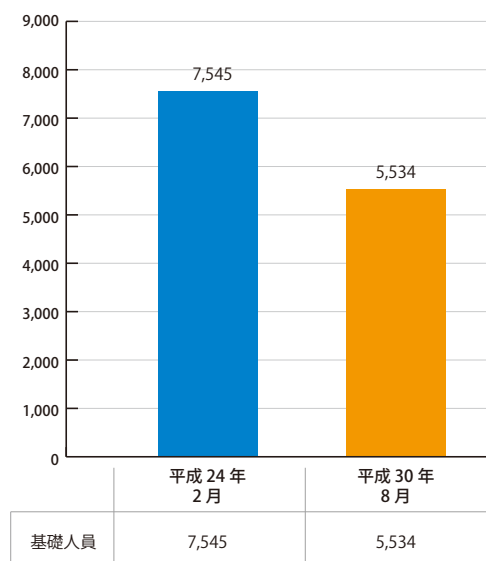
2 26.7% 減少
しています。

災害応急対策業務に関する基礎調査

従業員数の変化



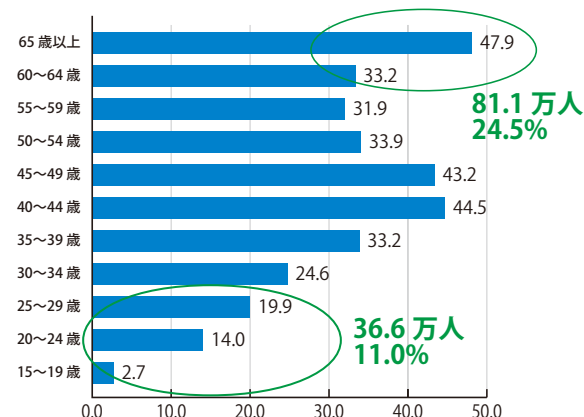
災害応急対策基礎人員の変化



この基礎調査からわかることは、災害等の緊急時に対応できる余力がほとんどなくなっているということです。しかも現在、60歳以上の建設技能者が全体の約4分の1を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれます。

これからの建設業を支える29歳以下の割合は全体の約10%程度となっており、若年入職者の確保・育成が喫緊の課題となっています。

年齢階層別の建設技能者数



出典 国土交通省

限界工事量を確保して災害に対応できる 組織力を高める

●限界工事量とは

地域の安全・安心を確保する建設企業が、災害応急復旧や除雪に対応できる人員・資機材等を継続していくためにぎりぎり必要な事業量。

●災害現場における対応力

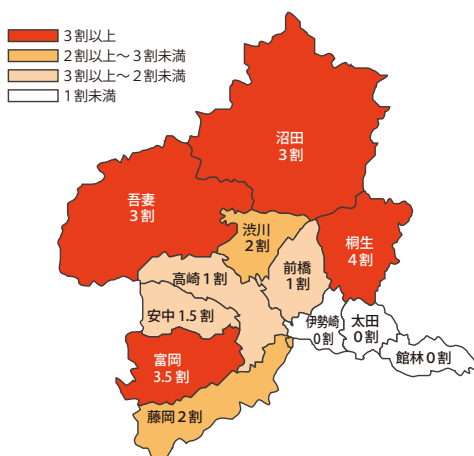
災害現場への一番乗りは建設業です。救急車や警察等の関係車両が現場に行けるよう、道路を確保します（啓開作業）。土砂崩れの現場や通行不能の道路、決壊した堤防などの最低限の機能を確保するため、まず応急対策工事を行います。

これらの作業を行うための「災害対応組織力」。この機能を維持するには専門の技術を持った技術者を有する建設業者がいなければなりません。しかし建設業の現状はというと、基礎調査の結果からもわかるとおり、非常に深刻な状態です。

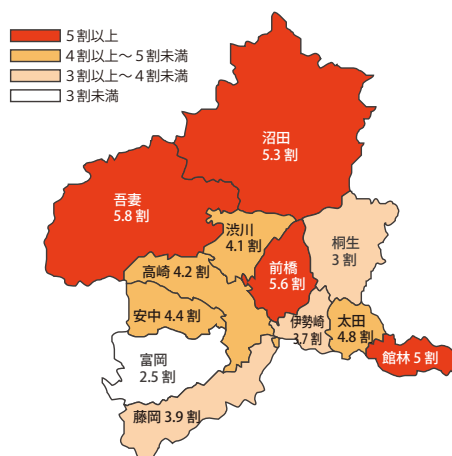


「企業評価制度のあり方についてのアンケート調査（H29.3.29）」より（群馬県建設業協会調べ）

後継者がいないと思われる会員企業の割合



会員企業減少の割合（H12年度比）



●技術者不足に対する施策

建設現場では、技術者不足に対応するため、ICT（情報通信技術）によって省力化を図り生産性の向上を図ることや、構造物の規格の標準化等施工の効率化を図っています。

しかしICTによる建設工事はそのための測量などが必要になります。災害現場は生存者の救出など時間との戦いとなるので、重機などを操る専門の技術者が臨機応変に対応しなければなりません。そこはまだ最新技術の及ばない世界なのです。

現在は、この災害対応力が下がっていることが問題です。道路や河川の維持管理や除雪なども専門的技術、経験、緊急対応が必要なケースが多くあります。

これ以上専門技術者の数が減ると、大規模な災害が発生した時に復旧に要する時間が長くなり、被災者の生命に関わるばかりでなく、社会経済活動にも大きな支障が生じることになります。

この専門技術者を確保・維持するためには、建設業界の安定した経営がどうしても必要になるのです。災害対応力を継続して持ち続けるためには、建設産業の最低限の経営を担保する「限界工事量」の確保が重要となってくるのです。

災害時の安全安心のためには
建設業の経営の安定が必要



限界工事量の確保は喫緊の課題です

「ぐんケン見張るくん」の運用

システムの概要

- 群馬県建設業協会の独自システムとして開発。
- 建設業協会員が、スマートフォン等の携帯端末から県内各地区の災害情報をリアルタイムで発信し、システムを通じて国土交通省や県内の自治体と速やかに情報を共有できます。
- 位置情報、文字情報、画像情報に加えて、動画での情報送信と閲覧が可能です。
- Twitter投稿機能を備えており、一般生活者へ向けた情報発信が可能です。

「ぐんケン見張るくん」3つの特徴

1 確度の高い情報

災害対応への実績が高い建設業協会員が発信する、現場最前線での正確な情報を提供

2 わかりやすい情報

収集した情報をわかりやすく発信(時系列・マッピング・文字・画像・動画など)

3 Twitter投稿機能

ワンクリックのTwitter投稿機能により、一般に向けてスムーズに情報発信
(群馬県建設業協会では、H26.2月の大雪をきっかけにTwitter投稿開始)

システムの運用とTwitterの効果

- 降雪時や台風・大雨・地震発生時の災害パトロール、また道路クリーン作戦などの協会活動を発信

 群馬県建設業協会
Twitter投稿より



H27.7月 集中豪雨による土砂崩れ災害(みなかみ町)



H28.9月 台風13号による集落復旧作業(沼田市)



H29.1月 除雪作業中(片品村)



H29.5月 道路クリーン作戦(伊勢崎市)

Twitter投稿のメリット

- 人とのつながりで拡がる情報で、口コミ効果による情報の拡散
- マスメディアでは取り上げられにくい地道な活動を発信
- 災害復旧などの進捗状況が、添付された写真で詳細に、かつリアルタイムの時系列で誰でも閲覧可能
- 平時に利用する使い慣れたシステムを災害時に活用できる
- #(ハッシュタグ)の設定で情報検索が容易に

孤立集落は霧積温泉が最後だったんだ! まずは安心しました。危険な状況の中ご苦労さまでした。

群馬県建設業協会の奮闘ぶりに胸熱。わたしのふるさと、春はすぐそこまで来ているよ。

連日、最前線での雪との格闘がアップされている。これを機に有効な情報発信を期待。

建設業協会員からの
確度の高い災害情報を
Twitterで発信!

H26.2月の大雪災害時のTwitter投稿に寄せられたメッセージ(抜粋)

流通在庫備蓄方式

～災害応急対策資材を常時備蓄～

群馬県建設業協会の特徴ある災害への備え ～ 流通在庫備蓄方式 ～

- 緊急時に必要な災害応急対策資材を迅速に調達できる
 - 備蓄物資を流通ルートにのせて管理するため陳腐化しない
 - 非常時の災害対策が充実、安全安心な県土づくりに寄与する備蓄品
ブルーシート2,000枚、大型土嚢1,000枚、土嚢袋20,000枚
- ※県内流通3企業と平成23年9月2日「流通在庫備蓄」協定締結



流通在庫備蓄品活用事例

平成30年1月4日雪崩発生(国道120号利根郡片品村大崖付近)



H30.1.4片品村大崖付近 雪崩発生



流通在庫備蓄品活用(大型土嚢)



災害対応状況

- H30.1.4 積雪87cm 3日間で積雪が倍増
- 国道120号片品村大崖付近**H30.1.4雪崩発生** 通行止め
- 群馬県沼田土木事務所鎌田事業所の要請により、**H30.1.5**に会員企業が復旧活動着手(全面交通止め)
- 懸命の復旧活動。**H30.1.6未明作業完了**(片側交互通行可)
- **流通在庫備蓄している災害応急対策資材(大型土のう)を400枚活用**(H30.1.5付)

大規模災害における対応概要

～豪雪・豪雨災害～

平成30年2月 北陸豪雪広域対応

- 嶺北地区を中心に大雪。最深積雪は越前市武生で130cm、大野市九頭竜で301cmとなり、観測史上最多を記録。福井市でも147cmとなり「昭和56年豪雪」以来37年ぶりの記録的大雪。
- J R北陸本線・越美北線や地域鉄道などの公共交通機関が終日運休
- 北陸自動車道や中部縦貫自動車道が通行止め
- 国道8号では坂井市からあわら市にかけて約1,500台の車両が立往生
- 死亡者12名、重軽症113名、建物被害123棟、農業用ハウス等の被害900棟



福井・石川・富山の北陸三県をはじめ、新潟などの日本海沿岸地域での豪雪災害に対して、人員・資機材を派遣して広域対応を行った／H30.2月

第一陣／2月8日～2月10日

2月8日	10:04	国土交通省より、ロータリオペレーターの福井への派遣要請
	12:03	正式に2名派遣の指示
	13:15	各自、自宅に戻って準備
	15:35	正式に2名派遣の詳細が決定
	16:30	現場事務所を出発
2月9日	22:10	現地到着 熊坂 ST にて先発隊の除雪業者と引き継ぎを行う
	23:10	ロータリ除雪車に乗り換えて作業開始 自衛隊と協力して残り25台程度の立往生車両の移動と除雪を行う
2月10日	03:00	月夜野 IC 到着
	05:30	除雪作業終了
	07:00	熊坂 ST に戻って待機
	16:00	甲府からの交替部隊到着まで待機を継続
2月10日	20:50	熊坂 ST の現地除雪業者にロータリ除雪車のカギを預けて待機終了
	21:00	熊坂 ST を出発
	03:00	月夜野 IC 到着

第二陣／2月10日～2月14日

2月10日	10:04	国土交通省より、福井に第二陣の派遣要請
	19:00	正式に2名派遣の詳細が決定
2月11日	13:00	現場事務所を出発
	20:00	国土交通省職員とあわら市役所職員による、明日作業の打ち合わせ
	21:00	熊坂 ST にて国土交通省職員と明日作業の打ち合わせ
2月12日	22:10	現地到着 熊坂 ST にて先発隊の除雪業者と引き継ぎを行う
	07:00	ホテルを出発
2月12日	08:30	熊坂 ST にて打ち合わせ 除雪機械修理のため修理工場に移動
	10:30	修理を終えて、あわら市道の除雪を開始（市役所職員同行）
	18:00	除雪作業終了
2月13日	07:00	ホテルを出発
	09:00	燃料の補給を受けて、あわら市道の除雪作業開始（市役所職員同行）
2月14日	19:00	除雪作業終了
	07:00	16日からの除雪作業を行う可能性があるため、現地で待機
2月14日	12:00	16日からの除雪作業が無くなったため群馬に向けて出発
	19:00	猿ヶ京 ST 到着

平成28年9月 群馬県沼田市利根町土石流災害対応



■土砂崩壊・流入による被害状況

- 軽傷者…………… 1名(72歳女性が避難時に負傷)
- 住家半壊…………… 2棟
- 住家一部損壊…………… 2棟
- 車庫兼物置一部損壊 2軒

災害発生から復旧までのタイムライン／9月7日～9月9日

9月7日	04:30頃	柿平住民から当地区長へ救援要請
	04:51	沼田市から災害情報メール発信
	06:30頃	利根町消防分団長到着
	10:30	分団長より利根町建設業協会長に災害派遣要請
	15:00	本格的な啓開作業
	17:30	一時的な導水作業終了

9月8日	08:00	啓開・導水（水路の詰まり解消）作業開始
	10:30	越流の原因となった水路の詰まりを解消
	17:00	作業終了（10t ダンプトラック 35 台分の土砂を場外搬出）
9月9日	08:00	作業開始（地元消防団員等約 120 名が人力による土砂出し作業）
	16:00	啓開作業により集落の中心道路が開通
	17:00	作業終了（10t ダンプトラック 44 台分の土砂を場外搬出）



群馬県沼田市利根町柿平地区 復旧作業状況

災害復旧にあたった建設業協会員の人員・資機材集計

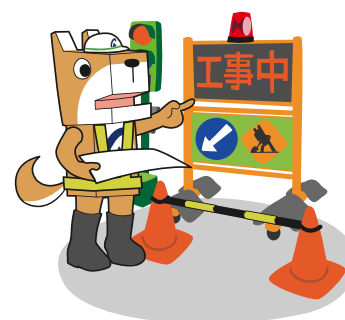
(9月7日～9月9日)

■人員

- 土木一般世話役…………… 計 3 人工
- 特殊運転手…………… 計 9 人工
- 普通作業員…………… 計13人工

■資機材

- バックホウ(0.45・0.25・ミニ・超ミニ) … 計13台
- ダンプトラック(10t・4t・2t) …… 計10台
- 投光機…………… 計 5 台



基 礎 調 査

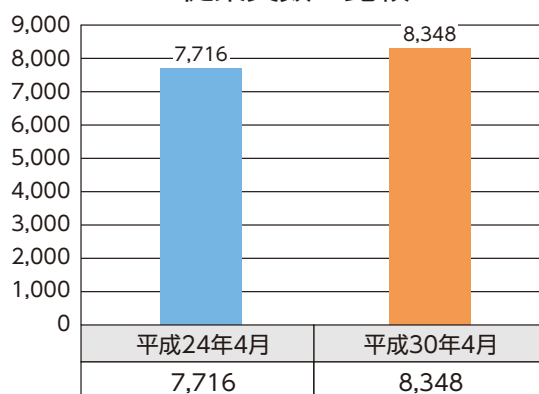
1 従業員数

平成30年8～9月調査

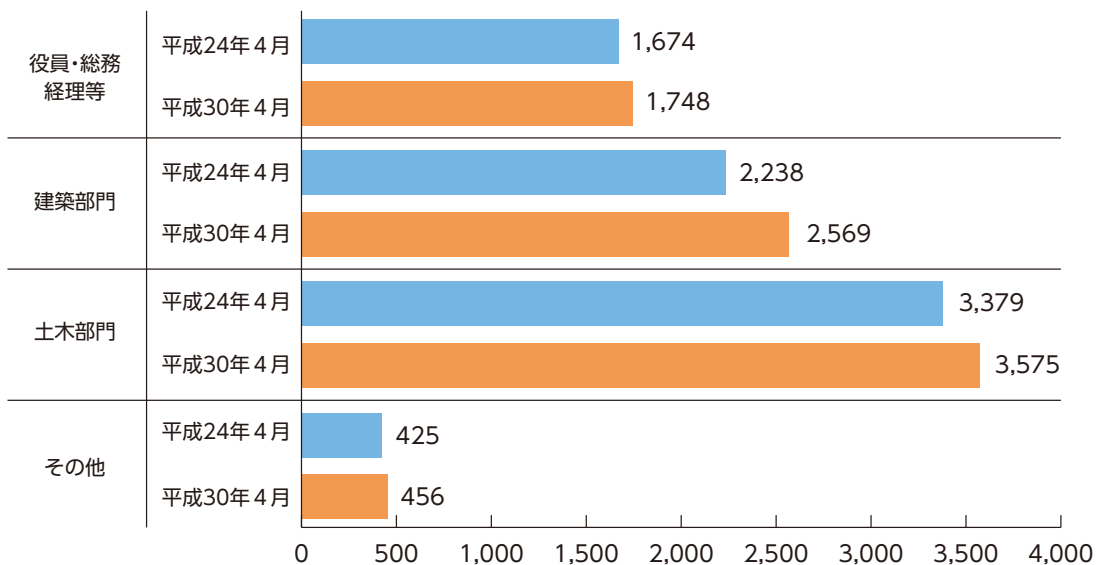
従業員数 8,348人

【本部会員 278社中240社回答 回答率 86.3%】

従業員数の比較



従業員数の内訳



2 災害応急対策基礎人員

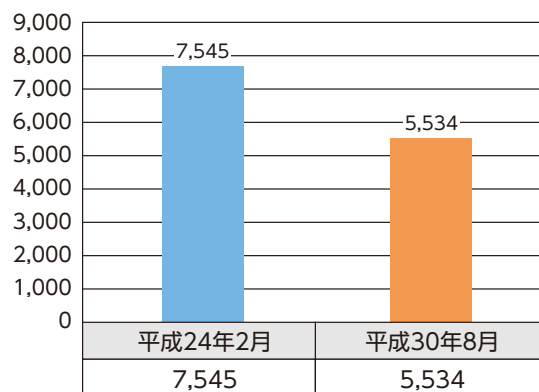
平成30年8月1日現在

【本部会員・支部会員343社中 322社回答 回答率93.8%】

(平成24年は317社、以下同様)

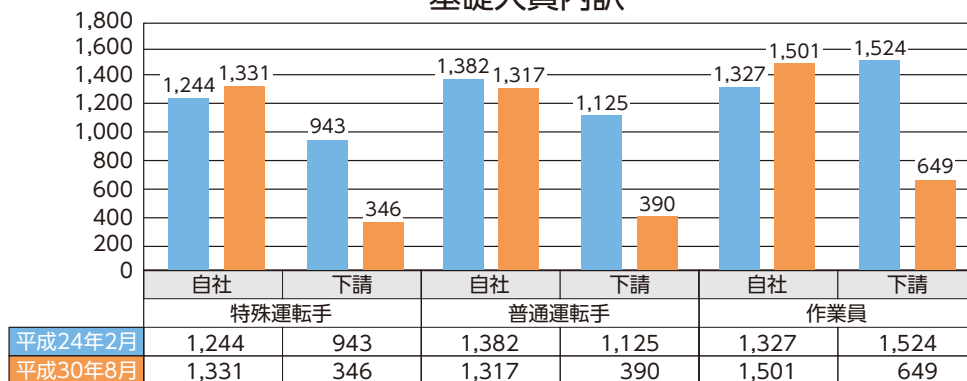
出勤可能人員総数：5,534人
(自社：4,149人、下請：1,385人)

災害応急対策基礎人員



基礎人員内訳

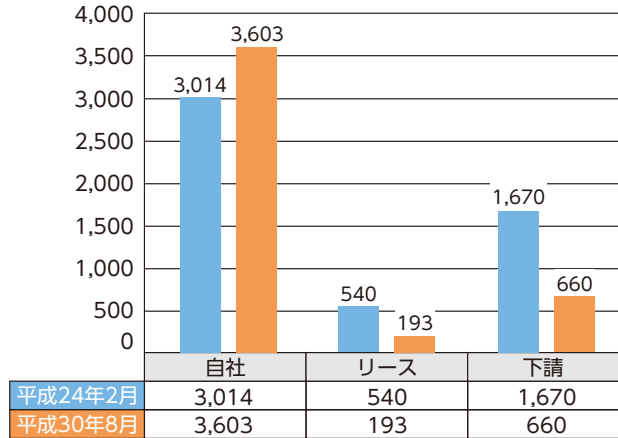
基礎人員内訳



3 建設機械の所有状況

保有建設機械(重機)総数：4,456台

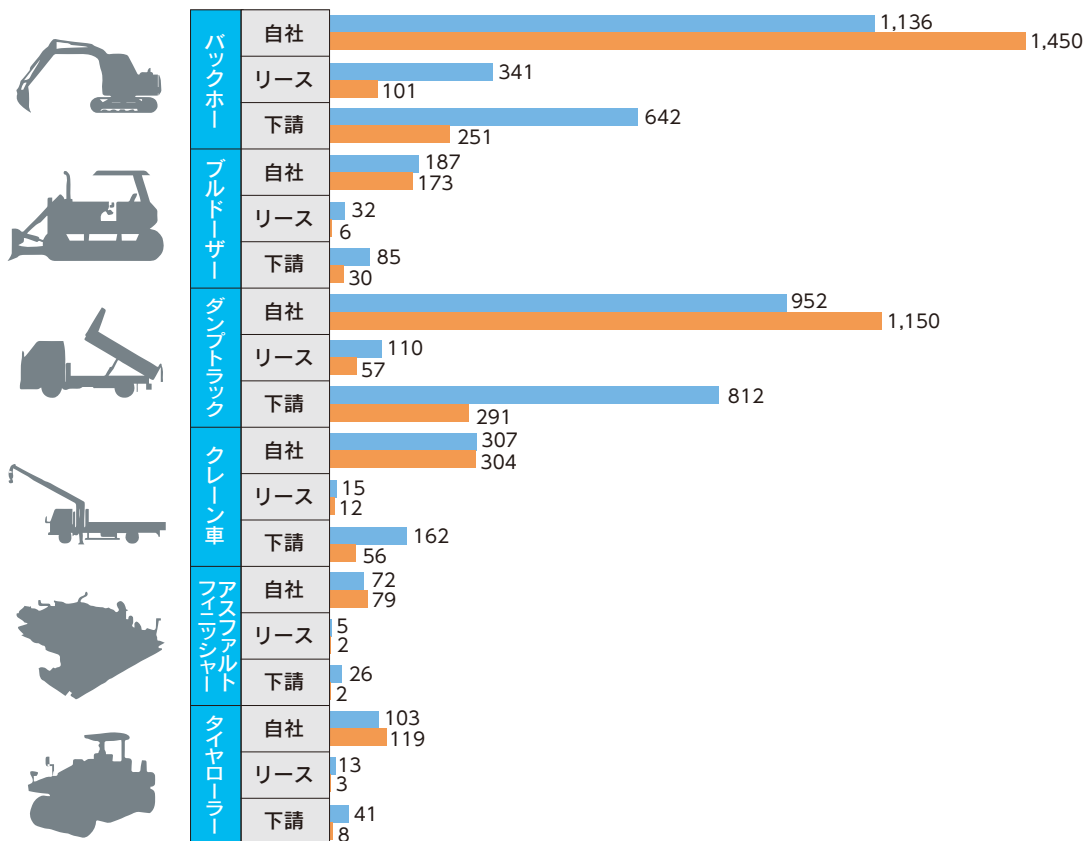
建設機械の所有状況



主な建設機械（重機）内訳

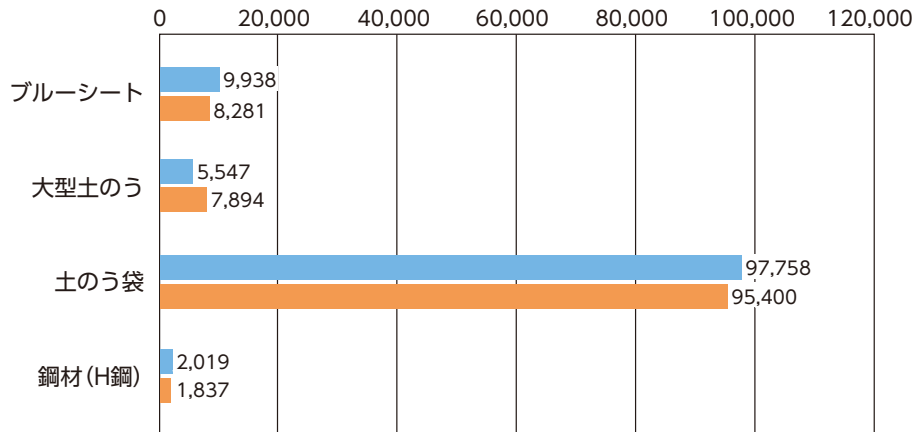
建設機械数の比較 詳細

平成24年2月 平成30年8月



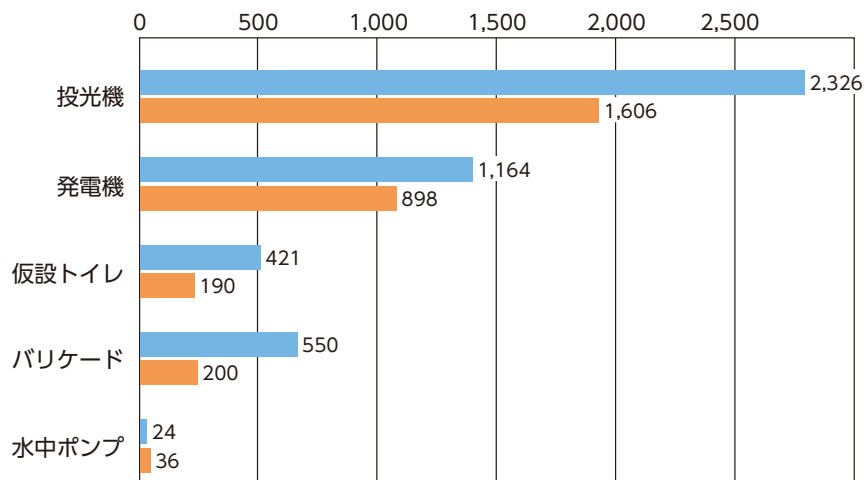
その他 各種ローラー車、モーターグレーダ、ホイールローダ、ショベルローダ、クローラードンプ、タイヤショベル等多数。

4 災害応急対策資材



	ブルーシート	大型土のう	土のう袋	鋼材(H鋼)
平成24年2月	9,938	5,547	97,758	2,019
平成30年8月	8,281	7,894	95,400	1,837

5 その他機材



	投光機	発電機	仮設トイレ	バリケード	水中ポンプ
平成24年2月	2,326	1,164	421	550	24
平成30年8月	1,606	898	190	200	36

その他 カラーコーン、ガードフェンス、粉碎機、敷鉄板等多数。

「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ



そしてNEXT STAGEへ!!!



一般社団法人 群馬県建設業協会

会長 青柳 剛 〒371-0846 前橋市元総社町2-5-3
電話027-252-1666 FAX027-252-1993

【前橋支部】 支部長 三原 豊章
〒371-0846 前橋市元総社町2-5-3
電話027-252-3051 FAX027-251-6185

(株)相川管理	品川工業(株)
相澤建設(株)	(株)志村工業
(株)旭テック	(株)下田工業
池下工業(株)	城田興業(株)
泉野建設(株)	新政建設工業(株)
稲村建設(株)	末広産業(株)
岩上建設(株)	(有)須田工業
鶉川興業(株)	大幸建設(株)
(株)大澤組	太真工業(株)
大島工業(株)	立見建設(株)
(株)大野工業	田部井建設(株)
小澤建設(有)	第一建設(株)
小曾根建設(株)	(株)大信工業
小野里工業(株)	月白工業(株)
上高井土建(株)	堤建設(株)
菊川工業(株)	ドーピー建設工業(株)群馬事務所
木村工業(株)	(有)野口組
(株)小金澤組	橋詰工業(株)
小林工業(株)	橋元興業(株)
小鮫建設(株)	富士鉄重構(株)
坂入建設(株)	(株)北進建設
佐田建設(株)	前橋地建(株)
佐田道路(株)	松島工業(株)
塩原建設(株)	三原工業(株)

宮下工業(株)	(株)吉田鉄工所
(株)ムラタ	(株)リフォーム群馬
山下工業(株)	渡辺建設(株)
(株)ヤマト	(株)渡辺工務店

【高崎支部】 支部長 関口 功
〒370-0811 高崎市相生町53
電話027-326-7291 FAX 027-323-6630

四十山土建(株)	(株)佐藤工務店
東屋建設(株)	(株)清水
(株)井ノ上	昭和建设(株)
井上道路(株)	昭和工業(株)
岩井土建(株)	(株)城東建設
上原建設(株)	神宮工業(株)
浦野工業(株)	鈴木建設(株)
追川工業(株)	高崎土建(株)
大木産業(株)	(株)高長組
(株)大野組	高橋建設(株)
(株)岡田工務店	第一工業(株)
織茂建設(株)	(株)千代田組
(株)川崎工務店	(株)富樫建設
カワナベ工業(株)	(株)研屋
関東土建(株)	同和建設(株)
(株)岸土木	(株)中島組
(株)フリエートイワサキ	(株)中島土木
(株)桑原工務店	信澤工業(株)
群馬土建工業(株)	(株)廣友土建
(株)コアエンジニアリング	冬木工業(株)

宮崎工業(株)	吉井建設(株)
(株)山富士産業	
【桐生支部】 支部長 山藤 浩一 〒376-0011 桐生市相生町2-376-19 電話0277-53-3637 FAX 0277-52-3830	
(株)相羽通建	(株)山藤組
(株)阿左美建設工業	(株)サン建設
(株)新井土木	(株)島田組
大川建設(株)	中部綜合開発(株)
梶山土木(株)	塚本建設(株)
(株)金子建設	寺田建設工業(株)
(株)北村土木	日生土木(株)
貴船工業(株)	(株)野村建設工業
桐生建設(株)	平澤建設(株)
(株)坂田興業	星野土木(株)
坂本建設(株)	モロオカ建設(株)
(株)三興エンジニアリング	(株)吉田組
【伊勢崎支部】 支部長 萩原 健次 〒372-0013 伊勢崎市上植木本町2731-4 電話0270-25-1793 FAX 0270-23-9059	
(株)井上	島久建設(株)
(株)岩瀬工務店	鈴木建設(株)
柏井建設(株)	田中建設(株)
上柿建設(株)	第一工業(株)
(株)神倉	ト一モ一(株)
(株)神澤組	日正重機建設(株)
(株)栗原建設	(株)萩原土建
(株)栗原工務店	(株)堀越組
小島建設(株)	村田建設(株)
(株)サンケン	(株)吉田組
三光開発工業(株)	
【太田支部】 支部長 守屋 清 〒373-0032 太田市新野町1118-1 電話0276-32-3808 FAX 0276-32-3805	
荒木土木(株)	(株)石宝
石川建設(株)	小林建設工業(株)
石橋建設工業(株)	斎藤商事(株)
市川建設(株)	創和建設(株)
岩崎工業(株)	田村建設(株)
岩澤建設(株)群馬支店	塚越建設(株)
大木建設(株)	利根建設(株)
大沢建設(株)	(株)宮公
荻原建設(株)	元盛建設工業(株)
加藤建設興業(株)	茂原建設(株)
(株)金井工事	守屋建設(株)
関東建設工業(株)	吉田建設(株)
協和建設(株)	渡辺建設(株)
工藤建設工業(株)	(株)和田組
【渋川支部】 支部長 須田 誠一 〒377-0008 渋川市渋川2281 電話0279-22-0776 FAX 0279-24-3577	
(株)飯塚組	(株)千明建設
井口建設(株)	(株)津久井工務店
(株)石関工務店	(株)南雲建設
岡本土木(株)	南榛工業(株)
勝野建設(株)	樋口建設(株)
金子建設(株)	(株)兵藤工務店
(株)木暮組	ホクブ(株)
(株)佐藤建設工業	瑞穂建設(株)
上毛緑産工業(株)	南澤建設(株)
(株)高特	(株)藤井建設
田子林業(株)	(株)吉田組

【沼田支部】 支部長 青柳 剛 〒378-0042 沼田市西倉内町654 電話0278-22-3695 FAX 0278-22-3696	
阿部土建(株)	角田建設工業(株)
石坂建設(株)	中村土建(株)
今井工業(株)	(株)沼建
岡村工業(株)	沼田土建(株)
角屋工業(株)	兵藤建設(株)
木内建設(株)	(株)星野組
木村建設(株)	増田建設(株)
清滝建設(株)	三川建設(株)
杉木土建(株)	光井工業(株)
須田建設(株)	吉野工業(株)
成和工業(株)	萬屋建設(株)
【藤岡支部】 支部長 塚本 定夫 〒375-0024 藤岡市藤岡1656-12 電話0274-22-0204 FAX 0274-24-2616	
(株)青木土建	塚越土建(株)
黒澤建設(株)	塚本建設(株)
(株)酒井建材	(株)塚本工務店
関口廣建設(株)	藤栄建設(株)
(株)高田建材	(株)豊田工務店
高橋建材(株)	(株)長谷川建設
多野産業(株)	安原工業(株)
田畑建設(株)	
【安中支部】 支部長 小坂橋 公治 〒379-0116 安中市安中3-25-7 電話027-381-0633 FAX 027-382-6377	
安中土建(株)	(株)野口組
(株)飯沼組	萩原建設(株)
(株)大手組	(株)萩原工業
関東建設工業(株)	峰岸土木(株)
小坂橋建設(株)	(株)ユ一キ建設
土屋建設(株)	
【吾妻支部】 支部長 池原 純 〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町793 電話0279-75-5240 FAX 0279-75-5245	
池原工業(株)	南波建設(株)
大久保産業(株)	都建設(株)
(株)滝沢工務店	(株)武藤組
(株)千島工務店	吉澤建設(株)
東光建設(株)	渡辺建設(株)
【富岡支部】 支部長 諸星 和夫 〒370-2454 富岡市田島348-3 電話0274-63-0729 FAX 0274-64-3214	
(株)アイビック	(株)田村組
岩井建設(株)	タルヤ建設(株)
上原建設(株)	(株)野口建設
神戸建設(株)	萩原建設(株)
神戸土木(株)	広木工業(株)
佐藤産業(株)	諸星建設(株)
西毛建設(株)	(株)湯川工務店
【館林支部】 支部長 原 初次 〒374-0043 館林市苗木町2618-18 電話0276-73-7939 FAX 0276-75-2841	
荒井建設(株)	原工業(株)
尾崎建設(株)	本田建設(株)
小曾根建設(株)	真仁土建(株)
河本工業(株)	本島建設(株)
新和建設(株)	柳瀬建設(株)
(株)徳川組	



■本部

〒371-0846

群馬県前橋市元総社町2-5-3 群馬建設会館内

TEL.027-252-1666 FAX.027-252-1993

■メールアドレス info@gun-ken.or.jp

■ホームページ <http://www.gun-ken.or.jp/>